

ANAとの合同交渉学ワークショップを開催しました

Learning Assistant

LA 活動報告

日時：2017年10月28日(土)11:45～17:00 場所：羽田空港第2ターミナル

羽田空港内のANAの人事部・人財大学の交渉学研修に本学学生2名(法学部3年井上宗知さん、文学部3年上田綾香さん)と教育推進部山本敏幸が参加した。ANAでの交渉学研修は、富士ゼロックス株式会社の阿部氏の支援により実現したものであり、7月のIBMで開催されたものに引き続き、今年度2回目の企業との合同交渉学ワークショップであった。

午前中は、ANAの日常業務の裏側(国内便運行前の打ち合わせ、出発時刻に合わせた駐機の段取り、空港上空を運行中の旅客機との交信など)を各担当者のすぐそばで見学させていただいた。安全運行が当たり前の日常業務の中で、俯瞰的に業務全体の流れを考えながら、各自の担当部分について多くを学べた。

社員用レストランでの昼食後、午後は、ANAの人事部・人財大学の幹部の皆様及び富士ゼロックス社VHPの方がたとの交渉学の研修に参加した。

山本からは、関大・交渉学の基本的な考え方について報告した。学生たちはインパクトある関大・交渉学の学びについて自分たちの習得したことをプレゼンした。阿部氏には、これまでの交渉学研修で交流のあった学生の成長をご確認いただいた。学生たちのプレゼンの後では、ANAの人事部の方々との距離も一気に縮まり和やかな会話が弾んだ。

今後は、ANA人事課人財大学のスタッフとの「英語力を活かした交渉学のテキスト」の共同制作、人財大学の研修生と関大生の合同交渉学ワークショップを計画していく。

(教育推進部 山本敏幸)



羽田空港のANA社員用出入口(ガンダム口)で集合



学生から見た関大・交渉学についてプレゼン

■スケジュール

12:00 羽田空港第2ターミナルツアー	(15:10 - 15:45 模擬交渉 (1対1))
12:40 昼食	(15:45 - 15:55 感想戦 (1対1))
13:40 交渉学交流会 (学生はプレゼンター兼受講者として参加)	(15:55 - 16:25 全体フィードバック)
(13:40 - 13:45 インタロダクション)	(16:25 - 16:50
(13:45 - 14:10 交渉学の基礎)	関西大交渉学事例紹介：関大・交渉学の展開についてプレゼン)
(14:10 - 14:35 事前準備 (各自))	(16:50 - 17:00 クロージング / アンケート)
(14:35 - 15:00 作戦会議 (チーム))	17:00 終了
(15:00 - 15:10 休憩・移動)	17:30 - 20:00 懇親会

From CTL事務所

私の周りにはいつも音楽があった。

【幼少期】物心がついたころには家の中

でも車の中でも音楽がかかっていた。

【小学校】いつしか聴く側から演奏する側になっていた。ピアノ、リコーダー、鉄琴・木琴、ハーモニカ。そして3年生の時に運命的な出会いをする。そう、トランペットに出会ったのだ。小さな背丈で重たい楽器を持って一生懸命吹いていた。演奏会やコンクールにも出場した。汗だくになり難しい隊列を組みながらマーチングも行った。

【中学校・高等学校】6年間吹奏楽に打ち込む。朝から晩遅くまでトランペット練習に励んだ。先輩と後輩の規律や音楽の基礎(楽典)もここで学んだ。ここで一生の財産となる友人とも出会った。苦楽を共にし喜びも悔しさ(涙)

も一緒に経験した。様々な経験から大きく成長ができた時期だと思う。

【大学】4年間、交響楽団に在籍した。中学や高校の時のようにトランペットだけというわけにはいかない。大学での講義はそれまでとは雲泥の差で困難を極めたからだ。大学生の本分は学業だ。もちろんそれは否定しない。だが、交響楽団に在籍し楽器を通じて、組織(楽団)運営や人とのコミュニケーション(協調性)を学んだ。

【社会人】大学卒業後しばらくブランクはあったが、一般市民管弦楽団に所属し、毎週音楽の世界に没頭していた。子育ても忙しくなり今はそれもできなくなってしまった。残念なことではある。

振り返ってみると、いつもそこには音楽があった。音楽を通じていろいろなことを学んだ。私にはそれがかけがえのない大切な財産だ。

学生の皆さんには大学4年間で何かひとつ人に話せるようなことを作ってほしいと思う。汗水垂らして努力して取り組んだことは絶対に裏切らない。その人の人格形成に大きく寄与することとなる。

何をしてもいいか分からないという人は授業支援SA(スチューデントアシスタント)にチャレンジしてみてもどうか。先輩・後輩を含めて243人の大所帯である授業支援SAは、学生が学生のために授業サポートをするやりがいのある仕事だ。大学のミッションである教育・研究・社会貢献の発展を教員・職員とともにその一端を担うのも面白い仕事だと思う。

時間は有限であり皆に平等に流れる。4年間(約3500時間)を大切に過ごしてほしい。これは拙い私の経験から言えることで学生の皆さんに声を大にして伝えたいことだ。

(よし)



KANSAI UNIVERSITY

関西大学 教育開発支援センター Kansai University Center for Teaching and Learning

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 TEL: 06-6368-1513 FAX: 06-6368-1514

http://www.kansai-u.ac.jp/ctl/index.html

発行日/2017年12月22日 編集・発行/関西大学 教育開発支援センター